

西部地区人権教育実践報告会

令和8年7月24日（金）

会場：所沢市民文化センターミューズ

1 全体会の概要

- (1) 開会の言葉 運営協力者代表
- (2) 挨拶 埼玉県教育委員会教育長
主催者会会長
- (3) 来賓挨拶 所沢市長
埼玉県議会文教委員長
- (4) 人権作文の発表・表彰
 - ・「わたしのおばあちゃん」
 - ・「人とのつながり・友だちをいじめないで」
 - ・「戦争はなぜ起こるのか？」
 - ・「自分らしく生きるということ」
 - ・「一人一人と向き合う世界」
- (5) 閉会の言葉 運営協力者代表



小学校	第2学年
小学校	第4学年
小学校	第5学年
中学校	第2学年
中学校	第3学年

2 分科会の概要

分科会名	実 践 報 告
「女性」 「外国人」	○毛呂山町における「女性の人権」に関する教育の推進について ○外国人の人権を考える教育の推進について
「こども」	○つながる輪で輝く笑顔 ー家庭、地域、関係機関、民間企業との協働でわくわく楽しい幼稚園ー ○人を尊ぶ人権教育の推進
「同和問題（部落差別）」	○正しい歴史認識から現代の差別を自分事として捉える主体的学びの構築 ○所沢市の人権教育に関する取組について
「高齢者」 「障害のある人」 (オンライン分科会)	○嵐山町における高齢者の人権について ○体験を通して学ぶ障害のある人の理解
「性的マイノリティ(性的指向・性自認)」 「様々な人権問題」 (オンライン分科会)	○児童一人ひとりが生まれてよかったと実感し未来に力強く生きるために ～自分とまわりの人を大切にしよう～ ○ヤングケアラー支援の取組について

3 参加者の意見など

- (1) 人権作文の発表は、「大変素晴らしかった」「素直な気持ちに感動した」「非常に興味深い内容ばかりだった」との声が多数あった。
- (2) 「参考にします」「実践発表を本校でも取り入れたい」「具体的な実践が伺えた」等、実践を今後になかそうという声が多数あった。
- (3) 「小学校の様子を知ることができ、有意義だった」「他校や他市の実践例を聞くことができた」「他の業種の方の実践を聞けたり、情報交換をしたりできた」等、異なる職種、市町村の取組を伺える機会と捉えられる感想があった。
- (4) 様々な立場の方の意見が聞けて勉強になったという感想が多数あった。